

令和9年度

お茶の水女子大学 特別選抜学生募集要項

総 合 型 選 抜 (新フンボルト入試)



お茶の水女子大学
Ochanomizu University

〒112-8610

東京都文京区大塚2丁目1番1号

Tel 03(5978)5151,5152(入試課)

HP <https://www.ao.ocha.ac.jp/>

※感染症等の影響により、入学者選抜方法等を変更することがあります。
その場合、上記ホームページにて周知します。

目 次

I 入学者受入方針.....	1
1. 本学の教育理念と総合型選抜アドミッション・ポリシー.....	1
2. 求める人物像.....	1
3. お茶の水女子大学の教育とアドミッション・ポリシー.....	1
II 学科の受入方針.....	2
III 総合型選抜(新フンボルト入試)学生募集要項.....	6
1. 募集人員.....	6
2. 出願資格.....	6
3. 出願手続.....	7
(1) 出願上の注意.....	7
(2) 出願期間.....	7
(3) 出願方法.....	7
(4) 提出書類等.....	8
(5) 受験上・修学上の配慮の事前相談について.....	9
インターネット出願の流れ.....	10
4. 選抜方法.....	14
(1) 第1次選考.....	14
(2) 第2次選考.....	14
5. 大学入学共通テストの受験について.....	16
6. 合格発表等.....	18
7. 個人情報及び試験成績の利用について.....	19
8. 入学手続.....	19
9. 注意事項.....	19
10. 大学案内の請求.....	20
11. 令和10年度総合型選抜(令和9年度実施)に関する変更の予告.....	21
IV その他の案内.....	22
1. 奨学金.....	22
2. 入学料減免と授業料減免.....	22
(1) 入学料減免の制度と申請資格について.....	22
(2) 授業料減免の制度と申請資格について.....	22
(3) 入学料及び授業料の徴収猶予と申請資格について.....	23
3. 学生寮.....	23
4. 入学料・授業料減免と学生寮の申請書類について.....	23
(1) 申請書の入手方法.....	23
(2) 問合せ先.....	23
5. アパート等の紹介.....	23
6. お茶の水女子大学交通案内.....	24
○スマートフォンに入試情報をお届けします！.....	25

※プレゼミナールの受講について
文系学科の選抜では必須、
理系学科の選抜では任意です。

I 入学者受入方針

1. 本学の教育理念と総合型選抜アドミッション・ポリシー

お茶の水女子大学は、学ぶ意欲のあるすべての女性の真摯な夢の実現の場であることを使命とし、総合的な教養と高度な専門性を身につけた女性リーダーの育成を目指しています。そのため、21世紀型文理融合リベラルアーツ教育、専門教育における複数プログラム選択履修制度、およびキャリア教育を3つの柱とする教育を展開しています。

こうした本学で学ぶことを志す意欲的で可能性に満ちた学生を受け入れるために平成29年度入試から導入された総合型選抜「新フンボルト入試」は、第1次選考のプレゼミナールと第2次選考の図書館入試・実験室入試の二段構えからなる、受験者の資質を丁寧にじっくりと見極めるユニークな入試です。

プレゼミナールでは文系・理系のさまざまな授業から一つを選んで、大学の授業を実際に体験してもらいます。文系では、プレゼミナールでのレポートと他の提出書類を評価して第1次選考を行い、第2次選考の「図書館入試」では附属図書館の資料を駆使してのレポート執筆とグループ討論や面接を通じて論理力や課題探究力・独創性などを評価します。理系はプレゼミナール参加は任意で、書類選考のみの第1次選考のあと第2次選考の「実験室入試」において、各学科の専門性に即した実験や実験演示、データの分析等の課題を課したり、高校での学びを活かした課題研究発表などを行ってもらい、探究する力を評価します。文系も理系も、いわゆるペーパーテストでは測れない潜在的な力(ポテンシャル)、単なる知識量の多寡ではなく知識を「応用」する力を評価します。

この新フンボルト入試を通して、基礎学力をしっかりと身につけたうえで広く深くものごとを探究することのできる人、入学してからの学修で、さらには社会に出てから、あるいは大学院に進んで研究を続けていくなかで、ますますその才能を磨き伸ばしていけるような、豊かな可能性を持つ人を求めています。

2. 求める人物像

本学での勉学に強い意欲と専門性を磨いていくために必要となる十分な基礎的学力を持っていること。そしてそれに加えて、文理を問わずさまざまな事象に強い知的好奇心を持ち、そこで課題を自ら発見し、それを粘り強く探究していく力、独創的な解を導けるようなポテンシャルを備えている人を受け入れたいと思います。

具体的には、以下の項目のいずれかひとつ以上に当てはまる方を求めます。

1. 知識や意見を人に伝え、実践するためのコミュニケーション能力や応用力を備えている。
2. 真理の探究と価値の創造に対する憧憬と幅広い興味・関心を持っている。
3. 自分の将来と社会の未来へのビジョンを明確に持っている。
4. グローバルな視野をもって思考し、国際的な場での活動を希望している。

3. お茶の水女子大学の教育とアドミッション・ポリシー

お茶の水女子大学は、学ぶ意欲のあるすべての女性の真摯な夢の実現の場であることを使命とし、総合的な教養と高度な専門性を身につけた女性リーダーの育成を目指しています。そのため、21世紀型文理融合リベラルアーツ教育、専門教育における複数プログラム選択履修制度、およびキャリア教育を3つの柱とする教育を展開しています。複数プログラム選択履修制度では、将来のキャリア展望や関心に応じて、専門教育プログラムを履修します。第1のプログラムとして、所属する学科の開設する「主プログラム」を履修します(必修、入学した学科のものを選択)。次に第2のプログラムとして、専門領域に深く特化する「強化プログラム」、他の専門領域を横断して学ぶ「副プログラム」、領域融合型・学際型の「学際プログラム」のいずれかを選択し履修します(選択必修)。また文教育学部芸術・表現行動学科及び生活科学部食物栄養学科では、それぞれの教育目標にそった4年一貫の「専修プログラム」を設けています。各自の目的や関心にそって、主体的に学修することができます。

お茶の水女子大学では、すべての女性が年齢・国籍などにかかわらず自立した女性として、生涯にわたって多様に活躍できるキャリア形成の場を提供しています。知的好奇心と探究心を抱き、勉学意欲に富んだ学生の入学を期待しています。

Ⅱ 学科の受入方針

文教育学部

【人文科学科】

人文科学科は、人類のさまざまな歩みの中から、未来の英知につながるあらゆる現象を広く文化としてとらえる人間の知の総合学を志しています。深く幅広い知識を修得し、それらに立脚したオリジナルな問いを自ら見つけ出し、必要な資料・データをねばり強く収集・整理したうえで、独自の論理を築きあげる力。勉学を続けていく場合でも、社会に出て活躍する場合でも必ず求められるこうした総合的な力を広く養成することが、本学科の目標です。

高校では、さまざまな教科や科目について幅広く学ぶと同時に、自分の関心を持ったテーマについて自主的に読書や調査を行うことを通じ、知的探究の面白さを経験してきてほしいと思います。いわゆる「指示待ち」型ではなく、物事を多面的に考えられる柔軟な思考力を持ち、独創的な解に到達しようとする意欲のある学生の皆さんの入学を希望します。

総合型選抜では、英・数・国の基礎学力をバランスよく備え、自分の将来像をある程度、具体的に持っている学生を望みます。

【言語文化学科】

言語文化学科では、日本語・日本文学、中国語圏言語文化、英語圏言語文化、仏語圏言語文化という4つのプログラムを開設しており、当該の言語の深い理解と高度な運用能力を身に付けることを目指し、それぞれの言語圏の文学や文化の本格的な分析を行います。そのためにこれらプログラムのいずれにおいても、文理両分野における十分な基礎学力と、旺盛な好奇心と、言葉への愛着を持ち、主体性と協働性を持って行動できる学生を求めます。

【人間社会科学科】

人間社会科学科では、人間について深い理解を持ち、その理解を現実的な場面で役立てていこうとする意欲ある人を求めます。当学科には、人間の発達について多角的に考えたり(教育科学)、人間の意識や行動の社会的側面を考えたり(社会学)、子どもが育つ環境や文化について考える(子ども学)という、3つの研究領域がありますが共通しているのは、自分を含めた「人間」に対するあくなき好奇心です。人間に関わる諸問題を学問的に解明したり、そこで得られた知識を実際に役立てていきたいと考える学生の進学を期待します。

高校ではさまざまな教科や科目について幅広く学んでください。特に、国語・英語(外国語)・数学は、大学での学修と研究にとって大変重要な基礎的能力を育成するのに必要です。また、地歴・公民や理科の学習を通じて、人間について深く考える姿勢と能力を身につけた学生を歓迎します。

(グローバル文化学(環)プログラムについて)

グローバル化する現代社会の課題を、①地域研究・地域文化、②多文化交流・多文化共生、③国際協力・国際関係、という3つの領域を組み合わせることで、動態的に捉え、実践的に学んでいこうというのが、グローバル文化学のコンセプトです。

その特徴は、文教育学部の3つの学科(人文科学科、言語文化学科、人間社会科学科)のいずれの学生も、主プログラムとして選択できることです(各学科の学生数の15%程度を上限とします)*。また、所属学科のいずれかの副プログラムを履修することで、学際的な学びができます。このような特徴から「学環」と呼んでいます。

この学環での学修を希望する人は、自分の関心や得意分野にそって、受験する学科を選んでください。カリキュラムなど、さらに詳しい情報を知りたい人は、文教育学部グローバル文化学環のホームページにアクセスしてみてください。

* ただし、人間社会科学科は教育科学・子ども学コースを除きます。

理 学 部

【数学科】

数学は、あらゆる現象の背後にある数や図形の永久に変わらない真理を追究する学問です。それを学ぶことで、魂を揺さぶる美しいものや実生活で役に立つものに出会い、また世界を見通すための厳格な論証法を身につけられると考えます。

本学総合型選抜で求める人物像に加えて、上記のような観点から、数学科では主に以下のような目標を持った人を求めます。

- ・教師や研究者のように数学を職業としたい人
- ・数理的な素養を生かして社会を支える仕事につきたい人
- ・とにかく数学に対して意欲を持って勉強したい人

志願者に求めるのは以下のことです。

- ・高校での数学を十分に理解し、大学での講義に必要な数学の知識を身につけている。
- ・文章から数学的な意味を読み取ることができる。
- ・自分の考えを数学的、論理的な文章に表現して相手に伝えられる。

【物理学科】

自ら考えて問題を見つけ出し、自ら考えてこれを解決する学生を希望します。

更に、豊かな人間性ととも、他人との協調性に優れた人格が望まれ、忍耐力も必要です。卒業後には物理学の勉学を通して培った、「物事の法則を発見しそれを応用する能力」を各方面で発揮し、社会において指導的役割を果たす女性となることを期待しています。総合型選抜では、物理学に強い興味を持つことを評価します。また、物理に関連する各種コンテスト等での活躍実績等があれば、それについても評価します。また、大学での物理の授業を履修するうえで、高校での物理及び数学の十分な習得は必須ですので、これらの科目は指定科目になっています。

【化学科】

“化学”は、原子・分子をなかだちとして自然科学のあらゆる分野と密接に関連しており、その領域は数学・物理学の理解が不可欠な分野から、さらに生物学や地球科学の知識の必須な分野まで広がっています。したがって、高校では化学のほかにこれらの基礎となる数学や物理学の学習を通し、論理的な思考力の基礎をしっかりと身につけることに加え、生物学や地球科学を学び、広く自然科学の知識を身につけておくことが必要となります。また“化学”においては、実験と研究は表裏一体をなすものであることから、入学後には、実験を重視し、1年次から3年次にわたり、多様な化学の各分野についての実験科目を必修として課しています。さらに4年次に進むと、これらの実験科目の集大成と実際の化学研究の現場に参画してもらう意味を込めて、卒業研究が行われます。

以上のことに鑑み、この総合型選抜では、“化学”を学ぶために必要な基礎的な学力に裏打された“化学”への深く強い興味と関心に基づく積極的な学習意欲に加えて、実験に主体的に取り組み、その結果を整理し、論理的に考察し、結論を引き出す力を評価します。

【生物学科】

生物学では、多種・多様な“生き物”の複雑で多様な生命現象を研究します。そのためには、いろいろな視点から考えることができる柔軟な思考力と、それを支える幅広い基礎知識が必要です。したがって、高校生時代を通して、理系、文系を問わず、教科科目を幅広く学び、論理的思考や知的好奇心をはぐくんでいることを希望します。また、“生き物”の複雑で多様な生命現象を観察し、“生き物”と忍耐強く対話し、自ら考え、自ら問題を見つけ、試行錯誤しながらこれを解決する意欲とパワーを持つ学生を希望します。“生き物”に関する理解と関心を深め、より多くの知の蓄積に貢献できる人材に育つことを期待しています。総合型選抜では特に、“生き物”の謎に対する探究心を重視し、生物学のさまざまな領域において高い問題意識を持って、積極的かつ行動的に自ら探究した経験の評価します。また、自然科学を広く学習して、科学的な基礎知識や考え方を備えていることも評価します。入学後は、1年生から研究室に入って研究ができる環境がありますので、生物学科のカリキュラムと合わせて、生物学の専門性を高めることを希望します。

【情報科学科】

情報科学はコンピュータの出現によってその存在と価値が確かめられた「情報」と呼ばれる概念を、エネルギーや物質と並ぶ世界の主要な構成要素として認識し、その生成、管理、利用に関する原理を探究する新しい学問分野です。今日、その応用は自然科学や工学のみならず、社会科学や人文科学にも及んでいます。この奥深さを理解し、これまでの成果を学びたい人、さらに今後の進展に積極的に貢献したい人にぜひ進学してきてほしいと思います。情報科学は、これまでの数理科学や自然科学の考え方を偉大な先達として独自の方法論を展開しようとしていることから、広くかつ深い理系のセンスが問われます。情報科学を通じて 21 世紀の科学技術を支えるのは自分たち女性だと心底思っている人、あるいは思いたい人、あるいはそういわれて「そうなんだ」と今気づいた人を大歓迎します。

情報科学科の先輩たちの中には、有名な国際会議において自分の研究を発表してきた人達が少なくありません。これは深い専門的素養を身に付けた上でのたゆまない研究が可能としたものです。入学してから輝かしい活躍をするためには、まず情報科学の専門教育に励むことが必要です。入試の要件に数学Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、A、B、Cの全てを課しているのは、これを可能にするために最低限必要なことであり、講義や演習もこれらを習得していることを前提に行われます。また情報科学では、ほとんどの新しい知識は英語で発信されるので、普通に情報科学を学ぶのにも基本として英語の実力が不可欠です。そして、一つの専門分野に閉じこもらず広くいろんな分野に通ずる学際性も必要です。理科の少なくとも1科目を要求しているのは学際性を支える最低の要件であり、その趣旨を全うするためには、本当は、少なくとも理科3科目を履修してきて欲しいところです。情報科学科では、高校で意欲的に学んできた、やる気に満ちた学生を歓迎します。

生活科学部

【食物栄養学科】

食物栄養学科は、豊かな食生活や健康な社会の実現に向けて、食物と栄養や健康に関する科学的視点と実践力を身につけた社会のリーダーとなる専門家の育成をめざしています。そのために食物と栄養に関する様々な学問分野において、分子、遺伝子、細胞レベルから人間栄養学的なものまで幅広く教育研究を行っています。

本学科の教育の特徴は、管理栄養士養成課程に必要な多数の実験や臨地実習を含む長時間にわたる実験・実習が必修となっていることです。実験・実習科目は1、2年より開講され、特に3年生の午後は毎日実験・実習が当てられています。所定単位を取り、本学科を卒業すると、栄養士資格が取得できると同時に、管理栄養士の国家試験受験資格と食品衛生監視員の任用資格が得られます。また、栄養教諭(一種)免許を取得することも可能です。

本学科の教育研究は実験科学を基盤とした上で生活や社会との接点を重視するため、本学に進学する学生には、忍耐強く実験・実習に取り組めること、自ら考え行動できること、他者とコミュニケーションをとりながらものごとを進められることを望みます。高等学校では、理数系の基礎をしっかりと履修すること並びに生活に即した学習を重視すること、具体的には、理科については物理基礎・物理、化学基礎・化学、生物基礎・生物のうち2科目以上を、数学については数学Ⅰ・Ⅱ・A・B・Cを履修しておくこと、家庭科や体育などの実技科目にも積極的に取り組むことを求めます。

【人間生活学科】

本学科では、豊かな人間生活の実現を担う人材の育成を、「生活社会科学」、「生活文化学」という相互に関連する2つのアプローチを通して追求します。①生活社会科学: 地域社会から国際社会まで、多元的な社会環境を視野に入れて、家族、消費者、女性、高齢者、子ども、制度と政策の問題などの生活と社会及びその関係についての社会科学的視点から分析し、政策の立案・提言を探究します。②生活文化学: 人間にとって最も身近な服飾と住居、工芸、デザインなどの生活造形を生み出し、子どもを育ててきた生活文化の歴史と現在について、比較文化的・民俗学的・歴史学的・保育学的視点から考察し、理解を深めます。これらの人間生活に関わる諸課題に関心があり、問題意識と研究意欲を持っている人、錯綜する現代の生活状況の中で、人間性を重視した社会を築くために貢献したいと考えている人、潤いのある生活を実現しようという熱意を持っている人を歓迎します。本学科を志望する人は、人間生活学科の2つのアプローチを踏まえ、高等学校において地理歴史・公民などの社会科系の科目をしっかりと履修していることはもちろんのこと、英語、数学、国語をはじめ、高等学校における教科科目を偏り無く履修していることを強く望みます。

【心理学科】

心理学は、人間の心理的プロセスを科学的に解明し、エビデンスに基づいて人々の生活する環境や社会の課題解決を目指す学問領域です。この目的を理解して、人間の行動と心に関する科学的な見方と深い洞察力を磨き、現代の生活環境や社会の諸問題に取り組む研究意欲のある人、心の発達や健康への心理臨床的支援を行うことで社会に貢献しようという熱意のある人の進学を歓迎します。

志望する人は、高等学校において、国語・英語(外国語)・数学をはじめ、高等学校における教科科目を偏り無く履修していることを強く望みます。

共創工学部

【人間環境工学科】

人間環境工学科は社会課題の解決に向けて、主に社会科学知と工学・テクノロジーを協働させることで社会イノベーションを推進する力の育成を目標とします。イノベーション推進には、技術開発に留まらず、ロジックモデルを用いることでプロセス全体を見通せることが求められ、この点が従来の工学とは異なる新しさとなります。

人間環境工学科においては、次のような学生を求めます。

1. 人々との協働のもと、イノベーションの社会実践を通じて新たな価値の創成にチャレンジする女性リーダーを目指す人。
2. 持続可能な環境を構想するために求められる科学的思考力と設計力を修得するのに必要な、理科系を中心とする基礎学力を持つ人。
3. 自然科学・工学と人文学・社会科学の協働、データサイエンスやICT(情報通信技術)に強い興味を持ち、人間、環境、材料分野などの工学系分野に関する専門知識の修得に意欲のある人。
4. 環境や社会から独自に疑問を見出す課題発見力と科学技術を用いた工学的アプローチによる問題解決策の発想力・設計力(デザイン力)を身につけたいと考える人。

【文化情報工学科】

文化情報工学科は、人間の文化に関する知(人文知)をデータサイエンスや工学と協働し、文化のイノベーションを推進する力の育成を目標とします。

文化情報工学は、人文知に工学を協働させることにより生み出される、人間の文化を尊重する新しいタイプの工学です。情報・工学技術を用いて、文学、言葉、芸術、思想、歴史、地理などに関する多種多様な情報をデジタル化(収集・生成・可視化)し、分析を行い、新たな作品や価値を創出します。

文化情報工学科においては、次のような学生を求めます。

1. 文化情報工学は、これまで別個に考えられてきた文化、情報、工学の協働を目指します。文理の別に拘わらず、人間や社会で生起する事象に対する幅広い知的好奇心と、データや論理的思考で自ら解明していく意欲及び探究力を持っており、その結果を社会での発信や実践につなげる意志を持つ人。
2. 人間の文化や社会に関心を持ち、コンピュータや情報通信技術に興味を持ち、自分の手でものを作ることが好きな人。
3. データサイエンスの基礎知識を用いた社会や文化の分析に関心を持ち、将来、データサイエンスや情報通信技術の知識や技能を活用する職業につきたい人。
4. 文化の創造に関心を持ち、データサイエンスや工学の基礎知識や技能を用いた作品の創造や発信、多様な人々との協働を通じた社会での実践を志す人。

Ⅲ 総合型選抜(新フンボルト入試)学生募集要項

1. 募集人員

	学 部	学 科	募集人員
文系学科	文教育学部	人文科学科、言語文化学科、人間社会科学科(注)	全体で12名
	生活科学部	人間生活学科、心理学科	
	共創工学部	文化情報工学科	
理系学科	理学部	数学科	3名
		物理学科	3名
		化学科	2名
		生物学科	4名
		情報科学科	7名
	生活科学部	食物栄養学科	2名
	共創工学部	人間環境工学科	2名

(注) 人間社会科学科は出願時に注意事項があります。事前に必ず下記のページをご確認ください。

https://www.ao.ocha.ac.jp/news/d013168_d/fil/jinsya-notes.pdf

なお、人間社会科学科教育科学・子ども学コースの出願資格、選抜方法は、全て人間社会科学科と同じです。

2. 出願資格

次の(1)～(3)の全ての要件に該当する女子

(1) 高等学校又は中等教育学校を令和7年3月以降卒業した者及び令和9年3月卒業見込みの者

(注) 出願者については、高等学校のほか高等専門学校及び高等部を置く特別支援学校並びに文部科学大臣から高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定された在外教育施設出身者を含む。

(2) お茶の水女子大学での勉学を強く希望し、合格した場合には必ず入学することを確約できる者

(3) 学科別に指定されている下記の科目(指定科目)について、履修し単位を得ているか、入学時までに単位を修得見込みであること

調査書の学習成績概評がA段階以上であることが望ましい

文教育学部	人 文 学 科 科	指定科目なし
	言 語 文 化 学 科	指定科目なし
	人間社会科学科	数学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ・Ⅵ 又は 理数数学Ⅰ・Ⅱ、理数数学特論
理学部	数 学 科	数学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ・Ⅵ 又は 理数数学Ⅰ・Ⅱ、理数数学特論
	物 理 学 科	物理基礎・物理及び数学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ・Ⅵ 又は 理数物理及び理数数学Ⅰ・Ⅱ、理数数学特論
	化 学 科	化学基礎・化学、数学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ・Ⅵと、(物理基礎・物理)又は(生物基礎・生物)の2組のうちのいずれか1組 又は 理数化学、理数数学Ⅰ・Ⅱ、理数数学特論と、(理数物理)又は(理数生物)の2組のうちのいずれか1組
	生 物 学 科	生物基礎・生物、数学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ・Ⅵと、(物理基礎・物理)又は(化学基礎・化学)の2組のうちのいずれか1組 又は 理数生物、理数数学Ⅰ・Ⅱ、理数数学特論と、(理数物理)又は(理数化学)の2組のうちのいずれか1組
	情 報 科 学 科	数学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ・Ⅵ、情報Ⅰと、(物理基礎・物理)、(化学基礎・化学)、(生物基礎・生物)の3組のうちのいずれか1組 又は 理数数学Ⅰ・Ⅱ、理数数学特論、情報Ⅰと、(理数物理)、(理数化学)、(理数生物)の3組のうちのいずれか1組
生活科学部	食 物 栄 養 学 科	数学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ・Ⅵと、(物理基礎・物理)、(化学基礎・化学)、(生物基礎・生物)の3組から2組 又は 理数数学Ⅰ・Ⅱ、理数数学特論と、(理数物理)、(理数化学)、(理数生物)の3組から2組
	人 間 生 活 学 科	指定科目なし

	心 理 学 科	数学Ⅰ・Ⅱ・A・B・C 又は 理数数学Ⅰ・Ⅱ、理数数学特論
共創工学部	人間環境工学科	数学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・A・B・Cと、(物理基礎・物理)、(化学基礎・化学)、(生物基礎・生物)の3組から2組 又は 理数数学Ⅰ・Ⅱ、理数数学特論と、(理数物理)、(理数化学)、(理数生物)の3組から2組
	文化情報工学科	指定科目なし

3. 出願手続

(1) 出願上の注意

- ① 出願後の志望学部・学科等の変更は認めない。
- ② 出願書類不備の場合は受理しない。また、一旦受理した書類は返却しない。
- ③ 出願書類を受理したことを、志願者に通知はしない。書類の配送状況は郵便局の郵便追跡サービスで確認すること。
- ④ 本学で出願を確認後、文系学科は9月7日(月)、理系学科は10月27日(火)までに受験票と受験者心得をインターネット出願サイトのマイページに掲載する。内容を確認の上、試験当日に必ず持参すること。

(2) 出願期間

学科により、出願期間が異なるので注意すること。

当該期間中に、インターネット出願の登録と検定料の納入(10～13ページ「インターネット出願の流れ」参照)を済ませ、なおかつ出願書類が本学に到着するように送付すること。

【文系学科】

インターネット出願登録期間 令和8年8月28日(金)9:00～9月2日(水)8:59

郵送出願期間 令和8年9月1日(火)～9月2日(水)【必着】

ただし、9月1日(火)以前の発信局消印のある書留速達に限り、期限後に到着した場合でも受理する。

(注) 文系学科に出願するためには、プレゼミナール(文系)の申込が別途必要となる。詳細については、プレゼミナールのパンフレットを参照すること。

【理系学科】

インターネット出願登録期間 令和8年10月16日(金)9:00～10月22日(木)8:59

郵送出願期間 令和8年10月20日(火)～10月22日(木)【必着】

ただし、10月21日(水)以前の発信局消印のある書留速達に限り、期限後に到着した場合でも受理する。

(3) 出願方法

インターネット出願サイトで登録後、提出書類を一括して、必ず**本学所定の出願用封筒貼付用宛名シート(インターネット出願時印刷可能)**を用い、「**書留速達**」で下記宛てに郵送すること。

〔送 付 先〕 〒112-8610 東京都文京区大塚2丁目1番1号
お茶の水女子大学入試課

(4) 提出書類等

志願者名票・写真票	インターネット出願サイトで入力後、印刷したもの。 ※氏名に環境依存文字が含まれている場合は、システム上使用できない可能性があるため、代替文字で入力してください。
調 査 書	高等学校長が作成し、厳封したもの。(出願時点で提出可能な最新のもの)
志 望 理 由 書	※ 本学所定の用紙 高等学校入学以降のさまざまな活動(学習や研究、生徒会やクラブ活動、留学やボランティア経験等)のなかで、あなたが何を体験し、そこから何を学び取ったのか、別紙の活動報告書に記載した内容と関連させて説明してください。また、大学に入学してからの4年間で何を学び、何を身につけたいのか、そして大学卒業後それらを活かしてどのような進路・将来像を描いているのかを具体的に述べてください(1200字以内)。 横書きで自筆とし、必ず日本語で記入してください。A4判片面で印刷してください(ホチキス留めは不要)。 ・生物学科志望者は、得意なことや自身の資質など、自己アピールを中心に記載してください。
活 動 報 告 書 及 び 関 連 資 料	※ 本学指定の用紙 関連資料については活動報告書の注記を参照のこと。 ・物理学科志望者は、自分で探究した物理現象・理論・実験などについてのPDF電子ファイルをインターネット出願登録時にアップロードし、かつA4判に印刷したものを必ず提出すること。 ・生物学科志望者で自主研究ポスター発表・質疑応答と口述試験を選択する者は、ポスターのPDF電子ファイルをインターネット出願登録時にアップロードし、かつA4判に印刷したものを必ず提出すること。 ・食物栄養学科志望者は、自主研究発表のポスター(A4判に縮小印刷)を必ず提出すること。 ・文系学科志望者は、いずれかの外国語検定試験のスコア・級の提出を必須とする。活動報告書の該当欄に取得したスコア・級を記入し、証明書の写しを資料として添付すること。 《提出できる外国語検定試験スコア・級》 ケンブリッジ英語検定、TOEFL、IELTS、TEAP、英検、TOEIC、GTEC (プレゼミナール当日から遡って2年以内に受験したものを有効とする。団体特別受験制度のスコアも可。スコア・級、可否は問わない。) ・理系学科志望者は、外国語検定試験のスコア・級の提出を必須としない。
検 定 料	17,000円(手数料別途) 各種支払方法については10～13ページを参照 払込済の検定料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しない。 1. 検定料を振込んだが本学に出願しなかった、又は出願が受理されなかった場合 2. 検定料を誤って二重に振り込んだ、又は多く振り込んだ場合 検定料は出願者からの返還請求に基づき返還するため、上記の返還事由に該当する場合には、第2次選考の前日までに本学入試課に請求すること。(出願した後に受験を取りやめた場合は、返還事由に該当しない。) ※ 理系学科では出願時提出書類のみにて第1次選考を行うため、その不合格者に対しては検定料の一部(13,000円)を返還する。請求書類は入試課ホームページに掲載する。入試課ホームページ: https://www.ao.ocha.ac.jp/

※ 志望理由書、活動報告書は、本学入試課ホームページの「学部募集要項」からダウンロード、印刷すること。

(5) 受験上・修学上の配慮の事前相談について

- ① 本学に入学を志望する者のうち、心身に障がいあるいは疾病があり、受験上の配慮を必要とする者（点字又は代筆による解答を希望する者を含む）については、出願期間前に入試課に申し出ていただき、文系学科については令和8年8月7日（金）、理系学科については令和8年9月24日（木）までに、「受験上の配慮事前相談申請書」、「医師の診断書」等をご提出ください。なお、受験上の配慮を講じる必要はないまでも、修学上の不安等を感じる者も、同様に申し出てください。
- ② 本学の「学ぶ意欲のあるすべての女性にとって、真摯な夢の実現の場として存在する」というミッションから、自身の性自認にもとづき、女子大学で学ぶことを希望する者を 2020（令和2）年4月入学者から受け入れることとしました。戸籍又はパスポートの性別と性自認が異なっている者については、入学後の学生生活をサポートするために、通称名や更衣室の使用などについて、あらかじめ情報を提供したいと考えていますので、文系学科については、令和8年6月26日（金）、理系学科については令和8年8月28日（金）までに必ず入試課に申し出てください。その際に、「出願申出書」及び「住民票又はパスポートの写し」等を提出していただき、出願資格等の確認をいたしますが、申出によって、合否判定の際に不利に取り扱われることはありません。

インターネット出願の流れ

出願完了までの流れは、以下の通りです



STEP

1

事前準備

以下のものをご用意ください

- ① パソコン(インターネット接続とPDF表示が可能なもの)、プリンタ
- ② 調査書、志望理由書等の提出書類
- ③ 顔写真データ(当日に本人確認が可能な、3ヶ月以内に撮影した単身、脱帽、正面向きのもの。実際の容姿と異なるような加工等はしないこと。)
 - ファイル形式(jpeg,jpg,png,bmp)、最大10MBまで
- ④ 角形2号(24cm×33.2cm)の封筒(出願書類郵送用)



STEP

2

インターネット出願サイトにアクセス

インターネット
出願サイト

<https://e-apply.jp/ds/ocha/>

または、

大学ホームページ
からアクセス

<https://www.ao.ocha.ac.jp/>



STEP

3

マイページの登録

画面の手順に従って、必要事項を入力してマイページ登録を行ってください。

なお、マイページの登録がお済みの方は、STEP4に進んでください。



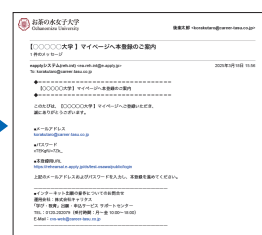
- ① 初めて登録する方は
マイページ登録 から
ログインしてください。



- ② メールアドレスの登録を行って
仮登録メールを送信 を
クリックしてください。



- ③ ユーザー登録画面から
ログインページへ を
クリックしてください。



- ④ 登録したメールアドレスに
初期パスワードと
本登録URLが届きます。
※@e-apply.jpのドメインからのメール
を受信できるように設定してください。



- ⑤ ログイン画面から
登録したメールアドレスと④で
届いた『初期パスワード』にて
ログイン を
クリックしてください。



- ⑥ 初期パスワードの変更を
行ってください。



- ⑦ 表示された個人情報を入力して
次へ を
クリックしてください。



- ⑧ 個人情報を確認して
この内容で登録する を
クリックしてください。



⑨登録完了となります。
「マイページへ」を
クリックしてください。



⑩上記ページが表示されたら
マイページ登録は完了です。

※出願受付中の場合のみ、「出願手続を行う」ボタンをクリックすると出願手続に進めます。
登録期間外の場合は、これより先に進めませんので「ログアウト」ボタンをクリックしてください。

STEP

4



出願内容の登録

画面の手順や留意事項を必ず確認して、画面に従って必要事項を入力してください。

検定料は、⑦申込登録完了画面が表示されるまでは支払わないでください。

総合型選抜理化学部物理学科及び生物学科志願者は、画面に従って面接用のPDFファイルをアップロードしてください。



①マイページログイン後の
「出願手続を行う」ボタン
から登録画面へ



②入試選択と留意事項の確認



③志望学部等の選択



④顔写真のアップロード
「写真選択へ」ボタンをクリックし
写真を選択します。



⑤個人情報(氏名・住所等)の
入力



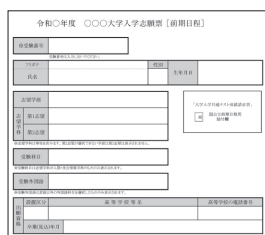
⑥出願内容の確認



⑦申込登録完了
「引き続き支払う」ボタンを
クリックし検定料のお支払い画面へ。



⑧検定料の支払い方法
●コンビニエンスストア
●ペイジー対応銀行ATM
●ネットバンキング ●クレジットカード



⑨出願に必要な書類PDF
(イメージ)

※検定料納入後に出力可能となります。

検定料の支払い方法で「コンビニエンスストア」または「ペイジー対応銀行ATM」を選択された方は、支払い方法の選択後に表示されるお支払いに必要な番号を下記メモ欄に控えたうえ、通知された「お支払い期限」内にコンビニエンスストアまたはペイジー対応銀行ATMにてお支払いください。

セブン-イレブンの場合

払込票番号
メモ(13桁)

デイリーヤマザキ、セイコーマートの場合

オンライン決済
番号メモ(11桁)

ローソン、ミニストップ、ファミリーマート、ペイジー対応銀行ATMの場合

お客様番号
メモ(11桁)

確認番号
メモ(6桁)

収納機関番号
(5桁)

5 8 0 2 1

※収納機関番号は、ペイジーで
お支払いの際に必要となります。

申込登録完了後に確認メールが送信されます。メールを受信制限している場合は、送信元(@e-apply.jp)からのメール受信を許可してください。 ※確認メールが迷惑フォルダなどに振り分けられる場合がありますので、注意してください。



申込登録完了後は、登録内容の修正・変更ができませんので誤入力のないよう注意してください。ただし、検定料支払い前であれば正しい出願内容で再登録することで、実質的な修正が可能です。

※「検定料の支払い方法」でクレジットカードを選択した場合は、出願登録と同時に支払いが完了しますので注意してください。

STEP

5

検定料の支払い

1 クレジットカードでの支払い

出願内容の登録時に選択し、支払いができます。

【ご利用可能なクレジットカード】

VISA、Master、JCB、AMERICAN EXPRESS、MUFGカード、DCカード、UFJカード、NICOSカード



出願登録時に支払い完了

2 ネットバンキングでの支払い

出願内容の登録後、ご利用画面からそのまま各金融機関のページへ遷移しますので、画面の指示に従って操作し、お支払いください。

※決済する口座がネットバンキング契約されていることが必要です

Webで手続き完了

3 コンビニエンスストアでの支払い

出願内容の登録後に表示されるお支払いに必要な番号を控えて、コンビニエンスストアでお支払いください。

●レジで支払い可能

●店頭端末を利用して支払い可能



Loppi



マルチコピー機

あなたも、コンビニ、
FamilyMart



4 ペイジー対応銀行ATMでの支払い

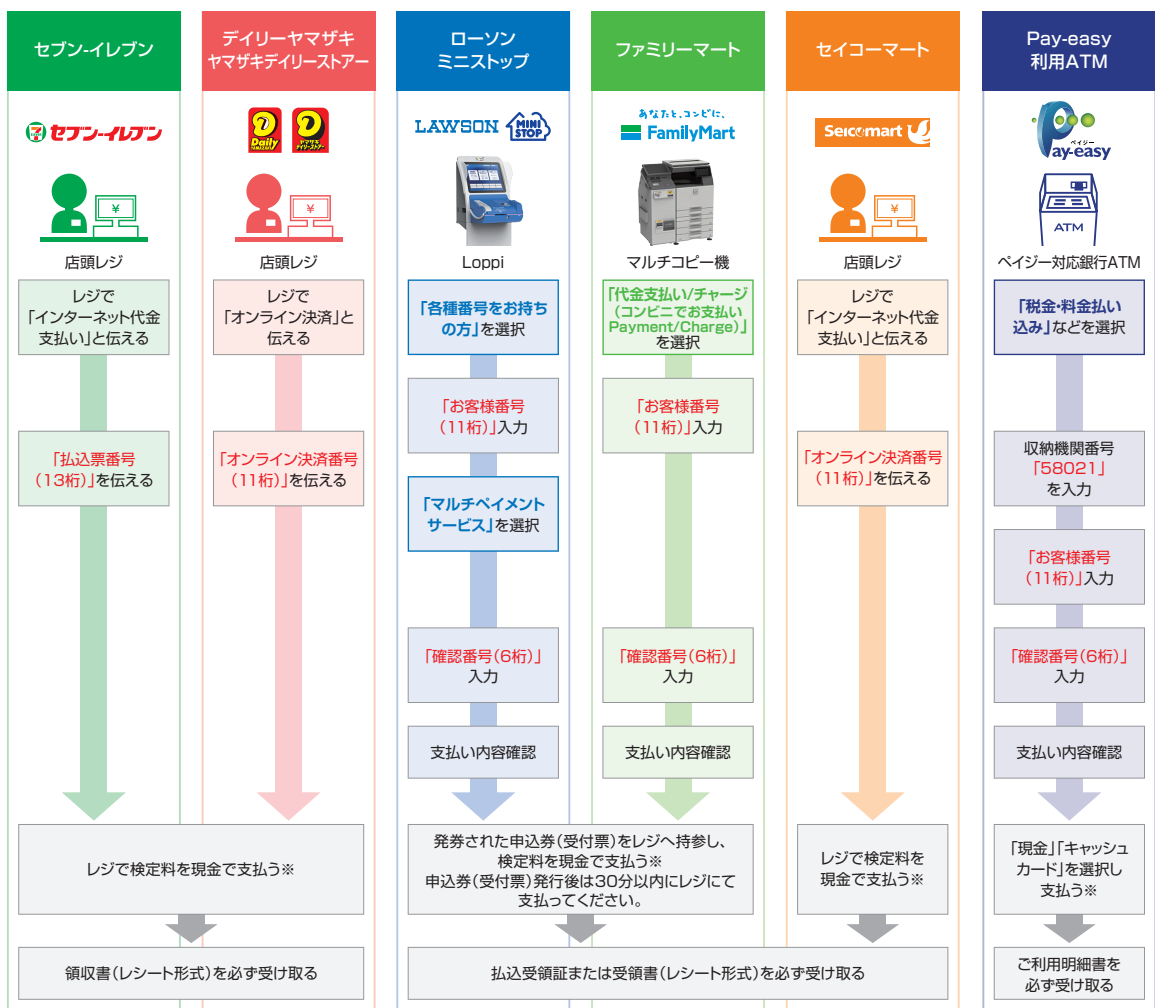
出願内容の登録後に表示されるお支払いに必要な番号を控えて、ペイジー対応銀行ATMにて画面の指示に従って操作のうえお支払いください。



※利用可能な銀行は「支払い方法選択」画面で確認してください。

各コンビニ端末画面・ATMの画面表示に従って必要な情報を入力し、内容を確認してから検定料を支払ってください。

3 コンビニエンスストア



※ゆうちょ銀行・銀行ATMを利用する場合、現金で10万円を超える場合はキャッシュカードで支払ってください。コンビニエンスストアを利用の場合は現金で30万円までの支払いとなります。

※検定料の他に手数料がかかります。

※お支払期間は、申込日を含めて4日間です。ただし、4日以内に出席締切日となる場合には、締切日が優先されます。期間内に入金がない場合には、出願申込は自動的に取消されます。

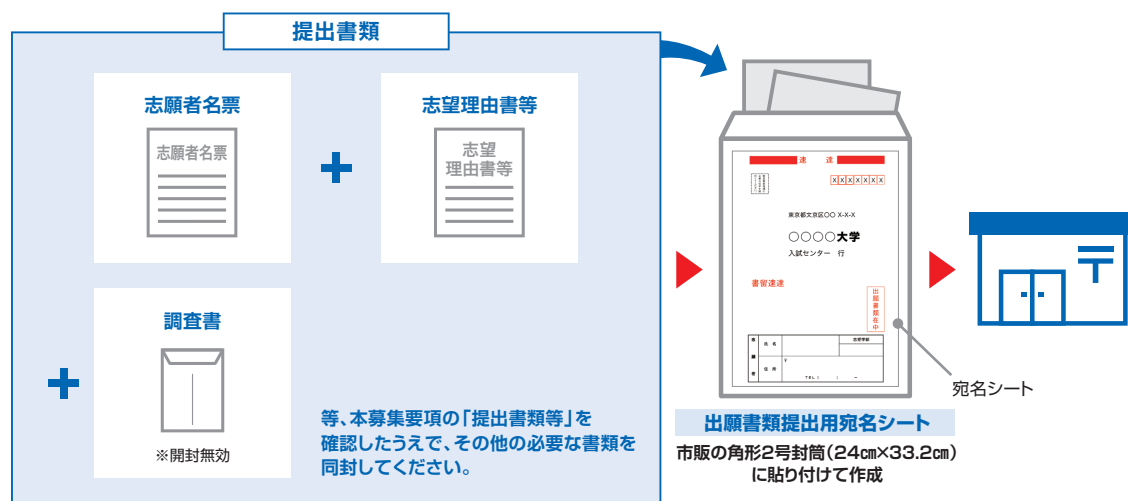
STEP

6

提出書類の印刷と郵送

登録だけでは出願は完了していませんので注意してください。

出願登録、検定料の支払後に送られる「出願サービス 支払い完了のご案内」メールに記載されたURLから、志願者名票等をダウンロード・印刷し、その他の提出書類(詳細は「提出書類等」を確認してください)と併せて出願期間内に郵便局窓口から「書留速達郵便」で郵送してください。※出願締切日必着。



送付先

〒112-8610 東京都文京区大塚2丁目1番1号
お茶の水女子大学 入試課 行

「志願者名票」等の印刷方法



- (1) マイページに表示された「志願者名票 (印刷)」のボタンをクリックしてください。
- (2) お支払いが正常に完了すると「志願者名票 (印刷)」のボタンをクリックできるようになり志願者名票の出力ができます。

※提出書類の入力事項(氏名や住所)に誤りがあった場合は、そのまま郵送せず、必ず入試課に連絡してください。

※出願受理した検定料・提出書類は一切返却しません。

〈出願完了〉

出願時の
注意点

出願はインターネット出願サイトでの登録完了後、検定料を支払い、提出書類を郵送して完了となります。登録が完了しても提出期限までに書類が届けなければ出願を受理できませんので注意してください。

インターネット出願は24時間可能です。ただし、出願登録、検定料の支払いは出願締切日8時59分まで(営業時間はコンビニエンスストアやATMなど、施設によって異なります)、必要書類の郵送は出願締切日必着です。ゆとりを持った出願を心がけてください。

出願書類を受理したことを志願者に通知はしません。提出書類の配送状況は、郵便局の郵便追跡サービスで確認してください。

STEP

7

受験票の印刷

本学で出願受理後、各選抜毎に募集要項に記載の期日までに受験票と受験者心得をインターネット出願サイトのマイページに掲載します(郵送はしません)。掲載時に受験票発行通知メールを送信しますので、必ず印刷して試験当日持参してください。



※受験票は必ずA4判用紙に片面印刷にしてください。

※受験者心得には受験にあたっての注意事項が書かれています。必ず受験前に内容を確認してください。

※募集要項に記載の期日を過ぎても受験票のダウンロードができない場合はお問い合わせください。

4. 選抜方法

選考は、次の第1次選考・第2次選考に分けて行う。

(1) 第1次選考 文系〔9月26日(土)〕、理系〔書類選考〕

文系学科志願者は、プレゼミナールのいずれかの文系セミナーを必ず受講すること。プレゼミナールの詳細については、「2026 年プレゼミナールのご案内」パンフレットを参照すること。セミナー受講後に作成するレポートや、出願時に提出する志望理由書・活動報告書・外国語検定試験成績等を総合的に評価し第1次選考を行う。

理系学科志願者には、プレゼミナールは任意参加とし、書類選考のみにて第1次選考を行う。

選考結果は、下記日付に可否照会システムで通知する。

URL <https://www.gouhi.com/ocha/>



電話等による可否の問い合わせには一切応じない。

【文系学科】 10月2日(金)正午 【理系学科】 11月12日(木)正午

※プレゼミナールには受験者以外の高校生も参加できる。

(2) 第2次選考 文系〔10月17日(土)・18日(日)〕、理系〔11月28日(土)〕

① 文系学科「図書館入試」

○時間割

日付	教科等	時間	教科等	時間
10月17日(土)	課題レポート作成	9:30～15:30		
10月18日(日)	グループ討論	10:00～10:45 又は 11:00～11:45	面接	12:45～

課題レポート作成後に1時間程度の在学生との懇談の機会を予定している。(参加は自由)

グループ討論及び面接の開始時間は、試験当日に指示する。

面接が終了次第順次試験終了となる。最終の試験終了時間は17:00頃の予定である。

○選抜方法詳細

1日目は、附属図書館の図書などを自由に参照しつつ課題についてのレポートを作成する。

2日目は、グループ討論と面接を課す。

② 理系学科「実験室入試」

○時間割

学部	学科	教科等	時間	教科等	時間
理学部	数学科	面接(口述試験を含む)	10:00～ 又は 13:00～		
	物理学科	面接(口述試験を含む)	10:00～ 又は 13:00～		
	化学科	実験に基づく課題と 口述試験	10:00～ 又は 13:00～		
	生物学科	ポスター発表・質疑応答 論述試験	10:00～12:00 10:00～11:30	口述試験	13:00～
	情報科学科	面接(口述試験を含む)	10:00～ 又は 13:00～		
生活科学部	食物栄養学科	ポスター発表・面接	10:00～ 又は 13:00～		
共創工学部	人間環境工学科	小論文	10:00～11:00	口述試験	12:00～

数学科、物理学科、化学科、情報科学科、食物栄養学科の受験者の試験開始時間は、受験者により10時又は13時となる。第1次選考合格者には各自の集合時間を通知する。

生物学科、人間環境工学科の受験者の試験開始時間は、全員10時となる。

○選抜方法詳細

それぞれの学科の特性を生かした丁寧な選考を実施する。

理学部	数学科	面接と口述試験を行う。口述試験は課題について考える時間が与えられた後、それに関して質疑応答をする形式で行う。
	物理学科	受験生は2つの性格の異なる面接 a)、b)を受ける(それぞれ20分)。b) の資料は事前にPDF 電子ファイルとして提出してください(形式、長さ任意)。 a)この面接直前に別室で物理の問題を解く。面接ではその解答をもとに質疑応答の中で、物理学・数学の基礎知識や応用力・計算力などをみる。 b)受験生が自分で探究した物理現象・理論・実験などを、提出された PDF ファイルをプロジェクター投影して説明する (10分ほど) 。それについての質疑応答の中で物理的洞察力や自分の考えの表現力をみる。
	化学科	あるテーマに関する実験を行い(演示実験を含む)、実験結果をまとめ考察する課題を課す。面接では、実験に関する質疑応答を行い実験内容の理解や思考力をみる。
	生物学科	「自主研究のポスター発表・質疑応答と口述試験」もしくは「論述試験と口述試験」のいずれかを出願時に選択する。「自主研究のポスター発表・質疑応答」では、出願時に提出したポスターを映写しながら 8 分程度の発表と 10 分前後の質疑応答を行い、課題発見・問題解決・研究意欲などを中心に能力を評価する。「論述試験」では、生物学に関する理解や問題解決を中心に能力を評価する。「口述試験」ではこれまでの活動実績や学習意欲、また一般的な面接内容も含めて総合的に評価する。
	情報科学科	基礎的数学力、論理的思考力、及び問題解決能力をみるために、数学の問題に関する課題を2題課す。一定の考慮時間のあと面接形式で黒板を使って考えたことを説明する。
生活科学部	食物栄養学科	出願時に提出したポスター(1つのみ)に関して、縮小版ポスターを書画カメラで映写し、自主研究の発表と質疑応答を課す(ポスターの差し替えは認めない)。自主研究のテーマは広く食物栄養学に関連したものとする。個人面接も課す。
共創工学部	人間環境工学科	当日示される課題についての小論文作成を課し、論理的思考力をみる。また、口述試験を行い、自然科学に関する基礎学力(数学、物理、化学、生物のいずれか)及び共創工学(人間、生活、環境分野)への応用力をみる。

(注) 第2次選考の詳細については、第1次選考合格者に合否照会システムで通知する。

5. 大学入学共通テストの受験について

合格者は、所属学科が以下に指定する令和9年度大学入学共通テストの教科・科目を必ず受験してください。併せて、同テスト出願の際に、成績の閲覧を「希望する」と登録してください。成績請求チケットを発行する必要はありません。4月にマイページで成績が閲覧できるようになりましたら、印刷してアドミッション・オフィス又は入試課窓口提出してください。なお大学入学共通テストの成績は合否に影響しません。

【文教育学部】

学 科 等	大学入学共通テストで各学科が指定する教科・科目名		受験を要する教科・科目数
人 文 科 学 科	国語 地理歴史・ 公民 数学 理科 外国語 情報	「国語」 (「地理総合、地理探究」、「歴史総合、日本史探究」、「歴史総合、世界史探究」、「公共、倫理」、「公共、政治・経済」)から2科目 「数学Ⅰ、数学A」と「数学Ⅱ、数学B、数学C」 (「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」、「物理」、「化学」、「生物」、「地学」)から1科目 (「英語―リスニングを含む―」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」)から1科目 「情報Ⅰ」	6又は7教科 8科目
言 語 文 化 科	国語 地理歴史・ 公民 数学 理科 外国語 情報	「国語」 (「地理総合、地理探究」、「歴史総合、日本史探究」、「歴史総合、世界史探究」、「公共、倫理」、「公共、政治・経済」)から2科目 「数学Ⅰ、数学A」と「数学Ⅱ、数学B、数学C」 (「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」、「物理」、「化学」、「生物」、「地学」)から1科目 (「英語―リスニングを含む―」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」)から1科目 「情報Ⅰ」	6又は7教科 8科目
人 間 社 会 科	国語 地理歴史・ 公民 数学 理科 外国語 情報	「国語」 (「地理総合、地理探究」、「歴史総合、日本史探究」、「歴史総合、世界史探究」、「公共、倫理」、「公共、政治・経済」)から2科目 「数学Ⅰ、数学A」と「数学Ⅱ、数学B、数学C」 (「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」、「物理」、「化学」、「生物」、「地学」)から1科目 (「英語―リスニングを含む―」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」)から1科目 「情報Ⅰ」	6又は7教科 8科目

【理 学 部】

学 科 等	大学入学共通テストで各学科が指定する教科・科目名		受験を要する教科・科目数
数 学 科	国語 地理歴史・ 公民 数学 理科 外国語 情報	「国語」 (「地理総合、地理探究」、「歴史総合、日本史探究」、「歴史総合、世界史探究」、「公共、倫理」、「公共、政治・経済」、「地理総合／歴史総合／公共」)から1科目 「数学Ⅰ、数学A」と「数学Ⅱ、数学B、数学C」 (「物理」、「化学」、「生物」、「地学」)から2科目 (「英語―リスニングを含む―」、「ドイツ語」、「フランス語」)から1科目 「情報Ⅰ」	6又は7教科 8科目
物 理 学 科	国語 地理歴史・ 公民 数学 理科 外国語 情報	「国語」 (「地理総合、地理探究」、「歴史総合、日本史探究」、「歴史総合、世界史探究」、「公共、倫理」、「公共、政治・経済」、「地理総合／歴史総合／公共」)から1科目 「数学Ⅰ、数学A」と「数学Ⅱ、数学B、数学C」 「物理」と(「化学」、「生物」、「地学」)から1科目の計2科目 「英語―リスニングを含む―」 「情報Ⅰ」	6又は7教科 8科目
化 学 科	国語 地理歴史・ 公民 数学 理科 外国語 情報	「国語」 (「地理総合、地理探究」、「歴史総合、日本史探究」、「歴史総合、世界史探究」、「公共、倫理」、「公共、政治・経済」、「地理総合／歴史総合／公共」)から1科目 「数学Ⅰ、数学A」と「数学Ⅱ、数学B、数学C」 「化学」と(「物理」、「生物」、「地学」)から1科目の計2科目 「英語―リスニングを含む―」 「情報Ⅰ」	6又は7教科 8科目

生 物 学 科	国語 地理歴史・ 公民 数学 理科 外国語 情報	「国語」 (「地理総合、地理探究」、「歴史総合、日本史探究」、「歴史総合、世界史探究」、 「公共、倫理」、「公共、政治・経済」、「地理総合／歴史総合／公共」)から1科目 「数学Ⅰ、数学A」と「数学Ⅱ、数学B、数学C」 「生物」と「物理」、「化学」、「地学」から1科目の計2科目 (「英語―リスニングを含む―」、「ドイツ語」、「フランス語」)から1科目 「情報Ⅰ」	6又は7教科 8科目
情報科学科	国語 地理歴史・ 公民 数学 理科 外国語 情報	「国語」 (「地理総合、地理探究」、「歴史総合、日本史探究」、「歴史総合、世界史探究」、 「公共、倫理」、「公共、政治・経済」、「地理総合／歴史総合／公共」)から1科目 「数学Ⅰ、数学A」と「数学Ⅱ、数学B、数学C」 (「物理」、「化学」、「生物」、「地学」)から2科目 (「英語―リスニングを含む―」、「ドイツ語」、「フランス語」)から1科目 「情報Ⅰ」	6又は7教科 8科目

【生活科学部】

学 科 等	大学入学共通テストで各学科が指定する教科・科目名		受験を要する 教科・科目数
食 物 栄 養 学	国語 地理歴史・ 公民 数学 理科 外国語 情報	「国語」 (「地理総合、地理探究」、「歴史総合、日本史探究」、「歴史総合、世界史探究」、 「公共、倫理」、「公共、政治・経済」)から1科目 「数学Ⅰ、数学A」と「数学Ⅱ、数学B、数学C」 (「物理」、「化学」、「生物」)から2科目 (「英語―リスニングを含む―」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」)から1科目 「情報Ⅰ」	6教科 8科目
人 間 生 活 学	国語 地理歴史・ 公民 数学 理科 外国語 情報	「国語」 (「地理総合、地理探究」、「歴史総合、日本史探究」、「歴史総合、世界史探究」、 「公共、倫理」、「公共、政治・経済」)から2科目 「数学Ⅰ、数学A」と「数学Ⅱ、数学B、数学C」 (「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」、「物理」、「化学」、「生物」、「地学」)から1科目 (「英語―リスニングを含む―」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」)から1科目 「情報Ⅰ」	6又は7教科 8科目
心 理 学 科	国語 地理歴史・ 公民 数学 理科 外国語 情報	「国語」 (「地理総合、地理探究」、「歴史総合、日本史探究」、「歴史総合、世界史探究」、 「公共、倫理」、「公共、政治・経済」、「地理総合／歴史総合／公共」)から1科目 「数学Ⅰ、数学A」と「数学Ⅱ、数学B、数学C」 (「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」、「物理」、「化学」、「生物」、「地学」)から1科目 (「英語―リスニングを含む―」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」)から1科目 「情報Ⅰ」	6又は7教科 7科目

【共創工学部】

学 科 等	大学入学共通テストで各学科が指定する教科・科目名		受験を要する 教科・科目数
人 間 環 境 工 学	国語 地理歴史・ 公民 数学 理科 外国語 情報	「国語」 (「地理総合、地理探究」、「歴史総合、日本史探究」、「歴史総合、世界史探究」、 「公共、倫理」、「公共、政治・経済」)から1科目 「数学Ⅰ、数学A」と「数学Ⅱ、数学B、数学C」 (「物理」、「化学」、「生物」、「地学」)から2科目 (「英語―リスニングを含む―」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」)から1科目 「情報Ⅰ」	6教科 8科目
文化情報工 学 科	国語 地理歴史・ 公民※ 数学 理科※ 外国語 情報	「国語」 (「地理総合、地理探究」、「歴史総合、日本史探究」、「歴史総合、世界史探究」、 「公共、倫理」、「公共、政治・経済」)から1又は2科目 「数学Ⅰ、数学A」と「数学Ⅱ、数学B、数学C」 (「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」、「物理」、「化学」、「生物」、「地学」)から1 又は2科目 (「英語―リスニングを含む―」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」)から1科目 「情報Ⅰ」	6又は7教科 8科目

(※)文化情報工学科では、「地理歴史・公民」と「理科」で合計3科目以上受験すること。

6. 合格発表等

(1) 合格者の発表

【文系学科】 令和8年11月1日（日） 9時 【理系学科】 令和8年12月10日（木） 正午
上記日時に、合否照会システムで通知する。合格通知書および入学手続関係書類は郵送しない。

URL <https://www.gouhi.com/ocha/>



電話等による合否の問い合わせには一切応じない。

- (2) 合格者は、総合型選抜の入学辞退手続により入学を辞退した場合を除いて、一般選抜（前期日程・後期日程）を受験しても本学及び他の国公立大学（独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く。公立大学協会ホームページ(<https://www.kodaikyo.org/>) 参照。以下同じ）の入学許可は得られないので、注意すること。
- (3) 国公立大学の一般選抜における合格決定業務を円滑に行うため、氏名、高等学校コード及び大学入学共通テストの受験番号に限って、総合型選抜の合格及び入学手続等に関する個人情報が、独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に送達される。
- (4) 合格者研修会と入学前教育について
合格者を対象に主に入学前教育に関する研修会を開催します。出席できるように予定しておくこと。
日時：**【文系のみ】**令和8年11月15日（日）13時～ オンライン
 【全員】令和8年12月20日（日）13時～ 場所：お茶の水女子大学内
※日時等詳細は合格者に通知します。

7. 個人情報及び試験成績の利用について

- (1) 個人情報については、「個人情報の保護に関する法律」及び「国立大学法人お茶の水女子大学個人情報の管理に関する規則」に基づいて適切に取り扱います。
- (2) 大学が取得した氏名、生年月日、住所、成績及び学修状況等の個人情報は、入学後の教務関係(学籍、修学指導等)、学生支援関係(学生証の発行、健康管理、授業料減免、奨学金の選考等)及び授業料等に関する業務を行うために必要な範囲内で利用します。
- (3) 入学者選抜に用いた試験成績等の個人情報は、入試の改善や志願動向の調査・分析及びこれらに付随する業務を行うために必要な範囲内で利用します。調査・分析等結果の発表に際しては個人が特定できないように処理します。
- (4) お茶の水女子大学は、「個人情報の保護に関する法律」に規定されている場合を除き、本人の同意を得ることなく今回入手した個人情報を他の目的で利用又は第三者に提供することはありません。

8. 入学手続

入学手続の詳細は、ホームページにてお知らせします。

https://www.ao.ocha.ac.jp/admission_procedure/index.html

(1) 入学料及び授業料

① 入 学 料 282,000円(予定額)

② 授業料年額 535,800円(半期分 267,900円)(予定額) ※

(注1)入学手続時に入学料と授業料(前期分又は前期後期分)を併せて納入することもできる。

(注2)入学手続完了者が3月31日までに入学を辞退した場合には、納入者の申出により入学手続時に納入した当該授業料相当額を返還する。なお、入学料は返還しない。

(注3)入学時及び在学中に授業料の改定が行われた場合は、改定時から新授業料が適用される。

※授業料については、現在、令和9年度入学者より改定を検討している。詳細については、ホームページを確認すること。

<https://www.ocha.ac.jp/news/d018091.html>

(注4)入学料及び授業料の減免については、22ページの「2. 入学料減免と授業料減免」を参照のこと。

(2) 入学手続期間

令和8年12月11日(金)～12月17日(木)

(注)所定の期日までに手続をしない者は、入学を辞退したものと取り扱う。

- (3) 合格者が極めて特殊な事情により入学を辞退する場合は、令和9年2月17日(水)までに、その理由を付した本学学長宛ての「総合型選抜辞退願」(様式任意)を入試課に提出すること。
入学辞退が許可されない場合には、本学及び他の国公立大学(独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く。)を受験しても入学許可は得られないので注意すること。

9. 注意事項

不合格となった場合は、国立大学への受験については、学校推薦型選抜の大学・学部から1つ、一般選抜の前期日程の大学・学部から1つ、後期日程の大学・学部から1つの合計3つの大学・学部に出願することができる。

出願にあたっては、各大学・学部等により大学入学共通テストの受験を要する教科・科目等が異なる場合があるので特に注意すること。

本学に出願する場合は、別途「令和8年度お茶の水女子大学特別選抜募集要項(学校推薦型選抜、帰国生徒・外国学校出身者特別選抜)」(7月上旬から公開予定)、「令和9年度お茶の水女子大学学生募集要項(一般選抜)」(10月上旬から公開予定)により、所定の期間内に手続をすること。

10. 大学案内の請求

各学部・学科の紹介等は、お茶の水女子大学大学案内を参照してください。

大学案内は、テレメールで請求できます。

下記 URL・二次元コードからテレメールのサイトにアクセスし、ガイダンスに従ってお届け先等を登録してください。

<https://telemail.jp>



資料請求番号(二次元コードの場合は入力不要)

大 学 案 内	562372
---------	--------

- ・16 時までの受付は当日発送、16 時以降の受付は翌日発送となります。ただし、発送開始日前に請求された資料は予約受付となり、発送開始日に一斉に発送します。なお、発送開始日は変更になる場合があります。
- ・通常は発送日のおおむね 3～5 日後にお届けできます。ただし、土曜・日曜・祝日の配達はありません。また、資料を請求する曜日やお届け先地域、郵便事情によってはお届けに 1 週間以上要する場合があります。あらかじめご了承ください。
- ・資料は個別に発送されます。複数の資料を同時に請求された場合、お届け日が異なることがあります。
- ・発行部数に限りがありますので、早期終了する資料もあります。お早めにご請求ください。
- ・資料請求受付終了時および受付確認メール内に表示される 10 桁の「受付番号」は、資料到着まで保管しておいてください。
- ・随時発送の資料が 1 週間以上経っても届かない場合は、テレメールカスタマーセンターまでお問い合わせください。予約受付の資料が発送開始日を1週間過ぎても届かない場合、資料の完成遅れや在庫不足等の理由により発送開始日が変更になっていることがあります。なお、土曜・日曜・祝日の配達通常ありませんのでお急ぎでない場合は翌配達日のお届けを確認した上で、お問い合わせください。
- ・資料の料金は、お届けする資料に同封の料金支払い用紙をご確認の上、資料到着後2週間以内に表示料金をお支払いください。なお、料金は資料の重量により変更になる場合があります。
- ・料金のお支払い方法は「PayPay」「携帯キャリア払い」「クレジットカード払い」「コンビニ支払い」「スマホアプリの請求書支払い(PayPay 請求書払い、au PAY 請求書支払い)」がご利用になれます。PayPay、携帯キャリア払い、クレジットカード払いはテレメールお支払いサイト利用料 30 円が、コンビニ支払いとスマホアプリの請求書支払いは支払い手数料 118 円が、支払い時に別途必要です。

テレメールに関するお問合せ先

テレメールカスタマーセンター
IP 電話 050-8601-0102
(9:30～18:00)



11. 令和10年度総合型選抜(令和9年度実施)に関する変更の予告

理学部物理学科および生物学科では、アドミッションポリシーに適合した学生を、より適切に選抜する観点から、実験室入試の選抜方法の変更を予定しています。

【物理学科】

〈現行〉

受験生は2つの性格の異なる面接 a)、b)を受ける(それぞれ20分)。b) の資料は事前に PDF 電子ファイルとして提出してください(形式、長さ任意)。

- a)この面接直前に別室で物理の問題を解く。面接ではその解答をもとに質疑応答の中で、物理学・数学の基礎知識や応用力・計算力などをみる。
- b)受験生が自分で探究した物理現象・理論・実験などを、提出された PDF ファイルをプロジェクター投影して説明する(10分ほど)。それについての質疑応答の中で物理的洞察力や自分の考えの表現力をみる。

〈変更後〉

受験生は、性格の異なる2つの面接 a)、b)を受ける。

- a) 面接直前に別室で物理の問題を解く(20分)。その後、面接において解答内容に基づく質疑応答を行う(20分程度)。
 - b) 面接室において、用意された器具や資料等について説明を受けた後、それらを用いた簡単な実験、または提示された課題に基づく検討を行う。続いて、当該実験または課題に関する質疑応答を行う(20分程度)。
- なお、a) では物理学・数学に関する基礎知識、応用力、計算力等を、b) では物理的洞察力および自らの考察を適切に表現する力等を評価する。また、提出された資料がある場合には、その内容について、b)の面接内で質疑応答を行うことがある。

【生物学科】

〈現行〉

「自主研究のポスター発表・質疑応答と口述試験」もしくは「論述試験と口述試験」のいずれかを出願時に選択する。「自主研究のポスター発表・質疑応答」では、出願時に提出したポスターを映写しながら8分程度の発表と10分程度の質疑応答を行い、課題発見・問題解決・研究意欲などを中心に能力を評価する。「論述試験」では、生物学に関する理解や問題解決を中心に能力を評価する。「口述試験」ではこれまでの活動実績や学習意欲、また一般的な面接内容も含めて総合的に評価する。

〈変更後〉

すべての受験生に対して、「論述試験」および「口述試験」を実施する。論述試験では、生物学に関する題材に基づいて課題を提示し、その理解力および問題解決能力を評価する。口述試験では、これまでの活動実績および学習意欲について評価するとともに、自己アピール(課題研究発表など)の内容も含め、総合的に評価する。自己アピールに関する資料(ポスター等)は、活動報告書とともに提出しておくこと。

IV その他の案内

奨学金、入学料減免、授業料減免、学生寮等

1. 奨学金

本学独自の奨学金として“みがかずば”奨学金(予約型奨学金)、学部生成績優秀者奨学金等があります。“みがかずば”奨学金は、お茶の水女子大学へ入学を希望する受験者に対して、入学後の生活の目処をたてていただくことを目的としたものです。入試出願前に奨学金を申請していただき、内定した方は入試合格・入学後に所定の手続をとることで、奨学生として採用されます。

学部生成績優秀者奨学金は、本学学部3年生のうち、1・2年次の成績等が特に優秀と認められた者に授与されます。

他に本学に設置された保育所を利用する学生に保育料の一部を援助する育児支援奨学金があります。

その他日本学生支援機構による奨学金等、奨学金に関する詳細は、本学ホームページを参照してください。

外国人留学生の奨学金については、国際課(Tel 03-5978-5143)に照会してください。

○奨学金について <https://www.ocha.ac.jp/campuslife/scholarship/about.html>

○問合せ先

学生・キャリア支援課奨学金担当

E-mail gakusei@cc.ocha.ac.jp

2. 入学料減免と授業料減免

注意事項 入学料及び授業料を納入済の者は減免・猶予の対象となりません。

(1) 入学料減免の制度と申請資格について

①入学料減免の対象者

次のa～dに該当する特別な事情により納入が著しく困難であると認められる者。

- a 入学前1年以内において、本人の学資を主として負担している者(以下「学資負担者」という。)が死亡し、又は本人若しくは学資負担者が風水害等の災難を受けたことにより、入学料の納入が著しく困難であると認められる者
- b 独立行政法人日本学生支援機構の給付奨学金の給付対象となる者
- c 独立行政法人日本学生支援機構から多子世帯の認定を受けた者
- d aに準ずる場合であって、相当の事由があると認められる者

②減免額について

入学料の減免が必要と認められた者については、納入すべき入学料の全額又は一部を減免します。

不許可となる場合もあります。

③申請時期

一般選抜前期日程合格者の入学手続期間内(3月中旬)に所定の申請を行った者について選考をします。また、入学料徴収猶予(延納)の制度もあります。猶予については(3)を参照してください。

(2) 授業料減免の制度と申請資格について

①授業料減免の対象者

- a 入学料減免のb及びcと同様
- b 経済的理由により、授業料の納入が困難であり、かつ、学業優秀と認められる者。

②減免額について

授業料の減免が必要と認められた者については、納入すべき授業料の全額又は一部を減免します。

不許可となる場合もあります。

③申請時期

減免は年度を2期に分け半期分ごとに選考をします(申請時期は3月と9月)。給付奨学生も申請が必要です。

(3) 入学料及び授業料の徴収猶予と申請資格について

①徴収猶予の対象者

経済的理由により、入学料又は授業料の納入が困難であり、かつ、学業優秀と認められる者。又は、次のa、bに該当する特別な事情により納入が著しく困難であると認められる者。

a 本学学生又はその学資負担者が災害を受け、納入困難と認められる場合

b その他やむを得ない事情があると認められる場合

②猶予期間について

入学料又は授業料の徴収猶予が必要と認められた者については、9月30日まで猶予されます。(9月30日が土、日祝日の場合は、直前の平日までとなります。)

③申請時期

入学料徴収猶予 一般選抜前期日程合格者の入学手続期間内(3月中旬)

授業料徴収猶予 3月1日～4月10日(4月10日が土、日祝日の場合は直前の平日までとなります。)

3. 学生寮

本学には、学部生の入居できる以下の学生寮があります。

本学ホームページには写真付きで紹介がありますので、そちらもご覧ください。

入寮申請日程については、本学ホームページをご確認願います。

施設概要

寮名称	所在地	定員	居室	食事	寮費(1か月)	対象学生
音羽館	お茶の水女子大学 大塚キャンパス	450 人	個室	な し	寄宿料 48,800 円 共益費 6,000 円 その他光熱水費等	学部生 大学院生 留学生
お茶大 SCC	文京区大塚	50 人	個室 (ハウス)	な し	寄宿料 30,000 円 その他光熱水費等	学部 1, 2年生 (含留学生)

寄宿料等については予定額であり、変動する可能性があります。

4. 入学料・授業料減免と学生寮の申請書類について

(1) 申請書の入手方法

お茶の水女子大学ホームページからダウンロードしてください。

①入学料及び授業料の減免・徴収猶予制度について

<https://www.ocha.ac.jp/campuslife/info/exemption.html>

②学生寮について

<https://www.ocha.ac.jp/campuslife/lodgings/index.html>

(2) 問合せ先

学生・キャリア支援課 入学料減免・授業料減免・学生寮担当

メールアドレス gakusei@cc.ocha.ac.jp

5. アパート等の紹介

大学周辺のアパート等の情報については、本学の生協が民間の業者と提携して、学生向けの物件の紹介を行っています。

6. お茶の水女子大学交通案内

最寄り駅等 { 地下鉄 丸ノ内線 茗荷谷駅 から 徒歩 約7分
地下鉄 有楽町線 護国寺駅(5番口)から 徒歩 約8分
都 営 バ ス 大塚2丁目停留所前

◎JR池袋駅から

地下鉄利用の場合

丸ノ内線・池袋駅〔新宿、荻窪方面行〕——約5分——→ 茗荷谷駅 下車

有楽町線・池袋駅〔新木場方面行〕——約4分——→ 護国寺駅 下車

都営バス利用の場合

池袋駅東口乗車〔東京ドームシティ行〕——約 20 分——→ 大塚2丁目停留所下車
(都02乙系統)

◎JR大塚駅から

都営バス利用の場合

大塚駅南口乗車〔錦糸町駅前行〕——約 10 分——→ 大塚2丁目停留所下車
(都02系統)

◎JR東京駅又はJR御茶ノ水駅から

地下鉄利用の場合

丸ノ内線・東京駅〔池袋行〕—約5分— 御茶ノ水駅 —約6分—→ 茗荷谷駅下車



最新の入試情報をお届け！

お茶の水女子大学では
スマートフォンの
『プッシュ通知機能』を
利用して、入試に関する
重要なお知らせをタイムリーに
配信しています。

ぜひご登録ください！

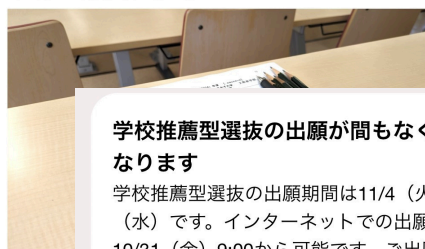
check it !



プッシュ通知登録用
二次元コード

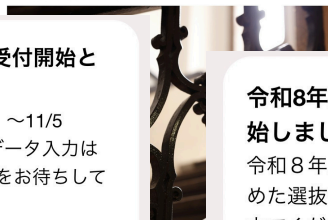
令和8年度一般選拔出願状況について

1/26(月)より、一般選拔出願状況を毎日掲載いたします。出願希望学科の志願状況等、ご確認くださいませので、ご利用ください。



令和8年度入試日程を公開しました

入試日程を公開いたしましたので、受験スケジュールの検討にご活用ください。なお日程は予定となりますので、募集要項が完成しましたら、必ず要項にてご確認ください。



令和7年度一般選抜合格者の平均点等を公開しました

令和7年度一般選抜合格者合計点の最高点、最低点、平均点公開いたしましたので、受験勉強にご活用ください。なお一部学科では非公表の場合があり、ご注意ください。



学校推薦型選抜の出願が間もなく受付開始となります

学校推薦型選抜の出願期間は11/4(火)～11/5(水)です。インターネットでの出願データ入力は10/31(金)9:00から可能です。ご出願をお待ちしております。



令和8年度 入学者選抜要項の公開・配布を開始しました

令和8年度に実施する入試の実施方法、概要をまとめた選抜要項を公開しましたので、受験準備にお役立てください。冊子でも配布しています。詳細はリンク先をご確認ください。



こんな通知が届く！

- 最新の出願者数/合格者数
- 過去問や模範解答の公開
- 出願受付開始のご案内
- 募集要項の公開

などなど…

お問い合わせ

お茶の水女子大学
入試課
nyushi@cc.ocha.ac.jp

入学者選抜に関するお問合せ先

お茶の水女子大学入試課

〒112-8610 東京都文京区大塚2丁目1番1号

TEL 03-5978-5151・5152

FAX 03-5978-5895

E-mail nyushi@cc.ocha.ac.jp

月曜日～金曜日(祝日は除く)9時～17時

※ 問合せはできるだけ志願者本人が行ってください

入試課ホームページURL (<https://www.ao.ocha.ac.jp/>)